

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	百貨店（販売促進担当）	・東日本大震災直後、計画停電開始直後の混乱からは大きく脱却しており、特に先週末においては大きな売上の回復がある。さらに2～3か月後であれば、はっきりと復興へ向かい、今より大きく回復する。ただし、計画停電での電力供給量によって大きく左右される。
		衣料品専門店（店長）	・東日本大震災における購入マインドの低さは今月が一番底だと考えているので、先行きは明るい。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・東日本大震災の特需にあやかっているスーパーや一部の食品店は、このところ地震のおかげという形で客が非常に来ている。普通の小売店でも3か月先になれば多少落ち着いてくるので、最悪な今と比べれば全般的に多少良くなってくる。
		百貨店（営業担当）	・東日本大震災による影響も少しずつ解消され、計画停電、節電の影響による営業時間の短縮についても、計画的な対応を取ることによりマイナス面を極力抑えることができる。東京圏については地震による影響というより、福島第一原子力発電所の事故による風評被害、更に電力不足による営業時間短縮の影響が懸念されるが、少しずつ改善の方向に向かっていく。
		百貨店（営業担当）	・現状が底と思われるので、やや良くなる。
		百貨店（副店長）	・食料品や日用品などを中心に、既に購買意欲が少しずつ戻ってきていると感じているので、先行きはやや良くなる。
		百貨店（営業企画担当）	・今よりは良くなってくると思うが、東日本大震災以前の状況に戻るにはかなり時間が掛かる。
		コンビニ（エリア担当）	・東日本大震災の復興需要で、やや良くなる。
		コンビニ（商品開発担当）	・復興へ向けて需要も伸びると思うので、期待したい。
		衣料品専門店（経営者）	・景気自体が良くなるとは思えないが、東日本大震災のショックから少しずつ遠のいて、季節とともに日常が戻り、購買力が高まっていくことに期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・東日本大震災の影響で販売量、来客数ともに激減している。福島第一原子力発電所の不安が付きまとい、年度末の忙しささえ感じない。メーカーの生産見込みも立たない現状に比べれば、先行きは今よりは良くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・東日本大震災における被災の後、当然開発のためにトラック、クレーン、重機等が次々と東北方面へ行って、廃材や整理等をしていく。そういうことでトラック需要が増えることが想像されるため、やや良くなる。ただし、原油がこれまでどおり高止まりになってしまうと利益が上がらないので、景気は停滞状態になるというのが業界の観測である。
		旅行代理店（従業員）	・東北の復旧が復興に替わるタイミングが2、3か月後であれば、多少景気の上向きが見えてくる。
		旅行代理店（支店長）	・やはり福島第一原子力発電所の影響や余震、計画停電の関係から、4～5月の仕事はほとんど無くなっている。旅行関連業界への影響は長く続くと思われるため、業界全体として非常に大変である。ただ、4月になって桜が咲き、少し東日本大震災の復旧が進めば、人々の心も明るくなるかと思うので、その点のみ、現状よりはやや良くなっていく。今月が底だということである。
		通信会社（営業推進担当）	・地上デジタル放送への完全移行を迎え、消費者の購買意欲は増加する。理由なく欲しい物を買う時代は終わったが、理由があれば消費する。
		観光名所（職員）	・今回の東日本大震災により、3月の客数は過去最低となっている。また、計画停電等の理由で旅客がかなり減っている。今後2～3か月後になると春を迎えるので、多少客が増えると期待したい。
遊園地（職員）	・東日本大震災等の発生した今月と比べると、2～3か月後は復旧も進み、多少の回復が見られることを期待したい。		
パチンコ店（経営者）	・正直、今が一番悪い状態だと思うので、2～3か月先になると今よりは改善されるのではないかと思っている。ただし、当店は電気を結構使う商売なので、福島第一原子力発電所その他の問題があった場合には、営業時間の短縮などとなり、現状と変わらないということもあり得るかもしれない。		

	その他レジャー施設 [アミューズメント] (店長)	・東日本大震災の影響で11～25日まで営業できなかったが、26日の顧客動向を見る限り、消費に収束の波は見られず、逆に加速しているように感じている。厳しい状況だからこそ娯楽を求める客が多いのか、地震前よりも財布のひもが明らかに緩い。
	その他サービス [立体 駐車場] (経営者)	・ガソリン不足、計画停電、大型店の営業時間短縮といった東日本大震災の影響が解消されてくるため、やや良くなる。
変わらない	一般小売店 [茶] (経営者)	・東日本大震災による景気の悪化、消費者ニーズの変化への対応で、売上が非常に低迷している。この状態は2～3か月後も変わらない。
	一般小売店 [文房具] (経営者)	・水不足などが落ち着くまで、しばらくはこのような状況が続く。
	百貨店 (総務担当)	・福島第一原子力発電所や東北地方に明るい兆しが見えないなか、購買意欲はなかなかかわいてこない。
	百貨店 (広報担当)	・東日本大震災の影響はしばらく続き、雇用環境の悪化や福島第一原子力発電所事故の放射線による影響など、消費者の心理にくすぶり続ける不安感は当面ぬぐい去れない。自己保全のための買いだめなどはあっても、通常の消費は回復しない。
	百貨店 (販売促進担当)	・東日本大震災後の購買意欲の復調がうかがえることや、意外な購買志向などがあることで、更に復調することを期待しているが、生活安全上の想定が全くできない現状から、しばらくは現在の動向が続く。また、6月以降の中元ギフト商戦はかなりの苦戦を想定している。
	スーパー (仕入担当)	・商品の供給予測が全く見えないため、商品動向や顧客の購買動向が予測できない。放射線汚染や計画停電の状況により需要が大きく左右されてしまう。
	コンビニ (店長)	・3月の動き、特にたばこの動きは一時的なものである。ただし、日本全国、皆かなりストレスがあるように感じているので、取扱商品の力でいくらかでも和らげることができれば、そこそこ売上は維持できる。商品が無いということも合わせて考えられる。
	家電量販店 (経営者)	・東日本大震災による自粛ムードで、不要不急商品の購買意欲の減退と、計画停電による営業時間の短縮で売上が大幅に低迷し、大変厳しい状況がしばらく続く。
	乗用車販売店 (経営者)	・自動車整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。この状況は今年いっぱい続くのではないかと心配している。
	乗用車販売店 (渉外担当)	・被災はあまりにも広大な範囲で、東日本大震災だけではなく津波や福島第一原子力発電所災害も重なり、復興にはかなりの時間を要する。
	高級レストラン (支配人)	・現在の状況は夏ごろまで続く。特に夜の会合は節電などの影響もあり、ここしばらくは全く見込めない。
	一般レストラン (経営者)	・自粛ムードが続き、夏場の計画停電もあるようなので、どんだ底の状況は今と変わらない。
	スナック (経営者)	・東日本大震災の影響が大きい。この状態が続けば人が出てこないし、飲む気にもならない。回復にはもう少し時間が掛かる。
	都市型ホテル (スタッフ)	・この自粛ムードはいつまで続くのか、それから計画停電がどのようになるのか、あるいは復興がどのように進むのか、それによって変わってくるので、全く不透明で分からない。
	都市型ホテル (スタッフ)	・3月の状況は最悪であり、今後夏に掛けて計画停電が実施されれば、外出を控える人が大勢出て、レストランはがらがら、宴会も取消や中止、宿泊も出張自粛で何ら今月と変わらない。
	都市型ホテル (スタッフ)	・東日本大震災の影響で、披露宴のキャンセルが続出している。全体に自粛ムードで披露宴を控えようという動きもあるような感じがする。今後これがどこまで続くか分からないので、非常に心配である。
	通信会社 (局長)	・福島第一原子力発電所の決着を含めた政府の対応次第で、更に悪くなる可能性がある。
通信会社 (営業担当)	・地上デジタル放送対策の駆け込み需要が予想され、今月並みの契約数は確保できる。	
通信会社 (営業担当)	・建物所有者の地上デジタル放送対策の勢いが鈍っているように感じる。	
通信会社 (支店長)	・計画停電も当分続くとされているため、客の購買意欲、消費マインドがなかなか高まっていけない。	
ゴルフ場 (支配人)	・2～3か月先の見通しは付かず、1か月ごとに客のキャンセルが殺到している状況である。	
美容室 (経営者)	・東日本大震災のために、少し予測が付かない状況である。	

	住宅販売会社（従業員）	・ 2～3か月では、東日本大震災の影響がまだ続く。
	住宅販売会社（従業員）	・ 東日本大震災の影響でしばらくは景気低迷が続く。計画停電等で日々の生活が慌ただしく、落ち着いてから考えようということになる。福島第一原子力発電所の件など、まだこの先どうなるか分からないこともあり、景気低迷が続く。
	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・ 東日本大震災の前までは緩やかに良くなっていく感じを受けていたが、地震で悪い方向に進んでいる。ただ、これが短期的なものなのか長期的なものなのかは少し判断が難しい。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・ 計画停電が昼間の営業時間帯に入った時は悲惨で、真っ暗な中では全く商売にならない。停電の間の社員処遇も大変難しいところであるが、今後このままの状況が続くと商況は非常に悪さになってしまうと危惧している。なんとか打開したいと思うが、商店街や個店ではどうにもならない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・ 東日本大震災の影響で皆後ろ向きになっている。エコポイント制度も終わり、いよいよ商品の動きが止まってくる。アンテナ工事等はまだまだたくさんあるものの、単価が低いので全体的に売上は低くなっていく。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・ エコポイント制度も終わり、地上デジタル放送移行など先に商品を購入した分もあるため、やや悪くなる。
	一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	・ 東日本大震災で国全体が復興ムードになり、個人消費とデフレが重なり、半年くらいは売上の落ち込みが続きそうである。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ 今月は東日本大震災の影響で過去40年間で最悪の月になったが、今後少しは上向き可能性があるのではないかと考えている。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・ 東日本大震災で首都圏に設置してある自動給茶機が次々に転倒し、復旧できないマシンも多く見られた。特に、10階程度の揺れに弱い構造の建物に設置してあるところでは、転倒破損が大きかったり、転倒防止対策をしてあっても転倒している。今後の対策も含め、お茶の購入やマシンの契約等は非常に慎重になってしまうため、景気低迷はまだ続きそうである。
	百貨店（売場主任）	・ 当面、計画停電や燃料の影響で必需品のみの動きが中心になると見込まれるため、春物ファッションへの需要は鈍くなる。
	百貨店（広報担当）	・ 今回の東日本大震災の影響で、営業時間の短縮を行っており、今後の業績は不透明である。
	百貨店（営業担当）	・ 東日本大震災の影響をまろに受け、各商材とも40～50%減と厳しい状況となっている。比較的良い食品でも20%減となっている。電力供給が厳しいため、計画停電が続くだけでなく、5月から冷房需要もあり予断を許さない状況で、個人消費が震災前に戻るのには秋口くらいではないかと予測している。
	百貨店（計画管理担当）	・ 東日本大震災の影響、計画停電の影響等で、この先衣料品等、高額品を含めて売れなくなっていく。
	スーパー（経営者）	・ 今月は買いだめの影響で少しは良いが、その反動が来月から来る。計画停電の影響で営業時間が制限されており、商品によってはまだまだ入ってこないものが沢山ある。放射線の風評被害で野菜類が非常に厳しい状況になっているので、今後は厳しくなるのではないかと感じている。
	スーパー（店長）	・ 大手電力会社の計画停電が解決しない限り、3か月先は厳しい。スーパーなので停電に伴う冷凍食品やアイスクリームの商品管理等、非常に厳しくなってくる。客も当然、今後は買い控えに向けてくる気がするので、そうした時を考えると今後の景気は非常に厳しくなる。
	スーパー（店長）	・ 東日本大震災時のまとめ買いの影響によって、今後は買い控えが予想される。また、安心安全の面から産地、商材の偏りが考えられる。その他、自粛や縮小等の傾向が見られる。
スーパー（総務担当）	・ 東日本大震災の余波が大きく、直近で言えば花見関係、入園入学、ゴールデンウィーク、母の日、父の日といったようなところまで、大きく盛り上がることに欠ける。小じんまりと家族を中心とした形での、小規模な経済状況になると思うので、良くなっていくのは停電も含めて福島第一原子力発電所問題が回復してから3か月～半年たってからである。	
スーパー（営業担当）	・ 今後は東日本大震災の影響による福島第一原子力発電所の動向如何によって、相当景気の動きが変わってくる。	

スーパー（仕入担当）	・生活防衛意識がますます高まり、必要な物しか買わなくなる。計画停電の影響で生産量が落ち、不安定な流通がしばらく続く。
スーパー（ネット宅配担当）	・東日本大震災の影響で節約志向が高まり、在宅率が高くなりそうである。商品価格も円高の影響である程度抑えられる。計画停電の影響がどの程度あるのかが問題である。
コンビニ（経営者）	・通常の商品は結構入荷するようになっている。また、デイリー商品も入荷するようになったが、乳製品、特にヨーグルトあるいは500ミリリットルの紙パックのコーヒー牛乳等の飲料が大変不足している。そのような中で来月初めから10日くらいまでたばこの納品が無くなるということで、大変心配をしている。その分、買い置きが発生しており今は良いのだが、反動で下がりそうである。
衣料品専門店（経営者）	・災害復興にあたるまでにはしばらく時間も掛かり、一般消費者の目が被災地に向いているため、消費の引き締めがこの先も続く。
家電量販店（店員）	・販売量の動き、単価の動きを推測すると、パソコン業界は低迷のまま進み、景気は下落する。
家電量販店（統括）	・エコポイント制度の終了に伴い、4月は大きく落ち込む。アナログ放送終了に伴い、6～7月は駆け込み需要が期待できる。
乗用車販売店（経営者）	・東日本大震災後の関東地方の放射線問題と計画停電を早く解決しないと、ますます景気が悪化してしまう。
乗用車販売店（従業員）	・東日本大震災の影響は今年中、もしくは来年くらいまで続く。新型車効果でどれだけ巻き返しできるか、このままだと不透明である。
乗用車販売店（営業担当）	・必要な物は高値であっても買うというのが今回の東日本大震災のことで分かったが、自動車は後回しのようなのである。
住関連専門店（統括）	・東日本大震災と福島第一原子力発電所の問題によって、まだまだ予断を許さない状況である。それに伴って景気も伸びる要素がなく、このまま推移するか、もう少し悪くなるのではないかと見ている。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・営業時間に大きく影響するため、夏季に計画停電がどのようになるか危惧している。1店舗閉鎖したため、全体の売上は減少が見込まれる。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・国内市場については、持ち直すのに相当な時間を要する。海外市場は新ハード発売とショー開催で盛り上がりを見せてくると思われるが、市場を大きく上向かせるには至らない。
一般レストラン（経営者）	・外食においては風評の如何が問われるところである。
一般レストラン（経営者）	・東日本大震災と津波のために、壊滅的な打撃を受けたので、客の予約がほとんどなくなった。2～3か月先も例年のようには望めない。もう既に7月の分がキャンセルとなっているので、2～3か月先はもっと悪くなる可能性がある。
タクシー運転手	・いずれにしても不安材料が多すぎる。やはりどうしても節約の際に真っ先に外されるという状況なので、厳しい。
通信会社（経営者）	・節約ムード、事業量、生産量の減少が考えられ、消費も減少する。
通信会社（営業担当）	・しばらくは自粛ムードが続くと思うので、営業活動にも影響が出てくる。
通信会社（営業担当）	・東日本大震災や計画停電など先行きが不安定な中では、娯楽に対する消費を抑える傾向が強くなる。
ゴルフ練習場（従業員）	・ゴルフコンペなども開催を自粛している向きがあり、練習回数等にも影響が出てくる。また、計画停電等で休業、短縮営業になるので、しばらくの間は売上が落ちる。
その他レジャー施設〔ホール〕（支配人）	・生活必需品は買い占めが横行し、そのため当分消費は停滞する。東日本大震災の被災地の復興が始まれば建設関係は活気を取り戻すと思われるが、旅行や歌舞音曲は控える傾向にあり、海外のアーティストの来日中止が増えるなど、興行界はしばらく厳しい状況が続く。
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・東日本大震災後の影響で、消費行動がマイナスに向かっているため、今後2～3か月後は福祉業界には良くない状況である。
設計事務所（所長）	・千葉県も東日本大震災によるかなりの災害を受けたため、回復が優先される。公共建物への影響が心配である。

	設計事務所（所長）	・仕事量がどんどん増えない限り、景気が良くなるはずがない。東日本大震災があったなかで、耐震補強が更に見直されれば良いが、それには国を挙げての総括的な政策が必要である。
	設計事務所（職員）	・建設業界の東日本大震災による影響としては、新たな災害への対応強化を目指す計画が出始めている。しかし、生産、物流に限らず、工期延長、計画見直し等の影響のほうが大きい。
悪くなる	商店街（代表者）	・計画停電地域ではないものの、その影響は仕入れのみならず、消費者の消費動向にも手控えムードを醸成するものであり、厳しい。
	商店街（代表者）	・3か月先は電力需要が更に悪化すると思うが、計画停電に入ったりしたら目も当てられない。被災地を支えたいが、このまま悪い状態が進めば、自分たちの体力を維持するのも大変な状況である。
	一般小売店〔和菓子〕 （経営者）	・東日本大震災の影響や福島第一原子力発電所が依然不透明な状況から、客の消費はまだ冷え込む。
	一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・東日本大震災のため、ガソリン不足に始まり、材料、商品、すべてが順調に入って来なくなっている。
	一般小売店〔家具〕 （経営者）	・東日本大震災は東日本の大災害ということで、これから先景気が良くなるということは到底見込めない。来客数を見ても、物を買うような気分にならないような感じなので、これからは景気は悪くなる。
	一般小売店〔印章〕 （経営者）	・東日本大震災の影響で余計な物はまず買わなくなっている。まだ余震もあるし、福島第一原子力発電所の空気汚染等もあり、消費者は当分の間、本当に最低限の物しか買わないような感じがしている。仕方ない状況だと思うが、福島第一原子力発電所の件が一番ネックである。
	一般小売店〔酒類〕 （経営者）	・東日本大震災の影響と計画停電が続く限り、商品の供給も滞りがちになり、しばらくは低迷が続く。
	一般小売店〔食料雑貨〕 （経営者）	・23区内に買物へ行けばいつでも買物できるが、計画停電の地区は行き先の予定を確認しないとならないので、近隣の客は都内へ流れてしまう。23区内を含め、営業時間、年間休日、看板や店内照明等、消費電力の規制を作らないと、地域によっては商店街だけでなく大型店も商売を続けられない。
	一般小売店〔靴・履物〕 （店長）	・東日本大震災後の状態で、放射線の被害が20～30年続くということで、景気が良くなる要因が全然ない。
	一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）	・商品供給先がいろいろな所で何かしら被災しており、商品が入ってこないこともある。客自体もやはり同じような形で、景気が悪くなっていることで物が買えなくなってくる状態も想定される。どうしても今後の売上は落ち込む。
	百貨店（総務担当）	・今後も計画停電が当分続く見込みで、その間は閉店をしなければならぬ。また、節電のため営業時間を短縮しており、消費者の購入マインドもかなり冷え込んでいる。
	百貨店（総務担当）	・消費マインドについては少しずつ改善すると考えられるが、計画停電が今後も継続する場合、影響は避けられない。経費を詰めることが重要にはなるが、固定的なものは難しく、どのように売上を取っていくのが課題であるが、これといった対応策が今のところない。
	百貨店（営業担当）	・東日本大震災後、会社を取り巻く環境は一変している。経済環境や消費者の変化に大きく影響を受ける百貨店は、しばらく厳しい状況が続く。
	百貨店（営業担当）	・東日本大震災や福島第一原子力発電所の影響は拡大の一途であり、当面は厳しい状況が予測される。取引先のお金が入らないと商品も作れず、原油等の高騰が価格にも影響を及ぼし始めている。
	百貨店（販売促進担当）	・東日本大震災や計画停電、福島第一原子力発電所の影響により、不要不急の需要が減っている。
百貨店（販売管理担当）	・東日本大震災以降、来客は以前の水準の9割程度まで戻りつつあるが、物流体制は回復しておらず、食料品を中心に取引先からの商品供給量が大幅に減少、制限されており、今後の改善の兆しが見えない。	
百貨店（店長）	・これから夏に向かい電気需要が増えるなか、計画停電による冷房の問題などで来客が減少する。	
スーパー（店長）	・取り扱っている生鮮食品の主要産地はこれから東北方面となるので、当然ながら品薄のために相場の高騰が考えられる。また、一般食品の生産もままならないため、原材料や包材の値上げも考えられ、消費者にとっては悪い要素しかない。	

スーパー（店長）	・東日本大震災後の動きとしては、衣料品が極端に悪く、不要不急の商品は買わない現状がある。2～3か月後だと、兵庫県南部地震の時もそうだったが、買い控えがそのまま続き、今まで買った商品がたまっているで買う物が無くなってきているという状況があったので、今回もそうなるのではないかと懸念している。
コンビニ（経営者）	・現在の大手電力会社による計画停電がすべてを物語っている。製品の販売ができない状態がこれからも続くことが予想され、全く先の見通しが立たなくなっており、危機感を持っている。
コンビニ（経営者）	・復興がどれだけ短い時間でできるかがポイントである。
コンビニ（経営者）	・東日本大震災の影響は大きく、商品の納入も大変遅れ、不規則になっている。正常に戻るには数か月以上先になるようであり、大幅な売上低下を覚悟せざるを得ない。
コンビニ（経営者）	・東日本大震災以来、混乱が続いているが、特に福島第一原子力発電所の収束が気掛かりであり、それによって大きく左右される。また、計画停電等も大きく景気に影響する。2～3か月先は非常に分かりにくい状況である。
衣料品専門店（経営者）	・衣料品は旅行等、出掛ける時に購入する機会が多いが、旅行などがすべてキャンセルになった状態では購入意欲が出てこないため、厳しくなる一方である。
衣料品専門店（経営者）	・理由はもちろん東日本大震災だが、加えて福島第一原子力発電所問題ということで、こちらも暗い雰囲気になっている。頑張っって欲しいのだが、計画停電等で購買的には非常に落ちる。
衣料品専門店（経営者）	・消費に関して沈滞的になり、生活必需品は購入するが、当店の一般的な一般婦人服は新たに購入せずに昨年のもので済ませるといったシビアな客が予想される。仕入れも先行き不安材料が多く、当店としても夏物の仕入れに保守的になっている。結果的に全体的に縮小してしまう懸念がある。
衣料品専門店（店長）	・東日本大震災に伴う購入意欲の低下と計画停電による営業時間の短縮ムードで、現状は前年同時期の60%以下である。計画停電は当分続くとの見通しもあるので、営業の仕組みを根本から見直さないと会社の存続にもかかわる。
衣料品専門店（営業担当）	・東日本大震災による復興が大変なので、これ以降の時期は景気が上向きにならない。
衣料品専門店（営業担当）	・東日本大震災の影響で、必要のない物は買わないという人々の意識が芽生え、衣料品業界はメーカー、個店などの倒産が増え続けるだろう。当店も例外ではない。
家電量販店（営業統括）	・被害に遭っていない地域が、被災地域の分まで活性化した経済活動を行うべきであり、過剰な自粛や歌舞音曲の禁止などが長引けば、経済活動は立ち行かない状況に追い込まれる。世論の方向性が、普通に生活し、過度な自粛ムードが改善されない場合、消費情勢は更なる悪化を招く。
乗用車販売店（総務担当）	・東日本大震災の影響で、当分の間は新車の売行きは最悪の数字になる。
乗用車販売店（店長）	・客は不急不要な物を購入する気になっていない。また、原油が上がっており、部品が全く調達できず、工場が非稼働で目途が全く立たない。
その他専門店〔雑貨〕（従業員）	・東日本大震災のダメージが大きすぎて、3か月で景気が回復するとは到底思えない。
その他専門店〔服飾雑貨〕（統括）	・東日本大震災の影響で客に不安が先行し、防災関連商品のみが動いている始末である。当分この状況が継続する。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・大手電力会社による計画停電は、気温の上昇とともに4月末を目途に一旦中止する方向であるが、夏場に向けた電力不足解消の目途が立っておらず、夏場に向かって休業や短縮営業を行う公算が高い。消費者も福島第一原子力発電所の影響で食料品や日用品の確保を最優先しており、ファッション店舗の退店や個人オーナーの倒産が懸念される状況である。
高級レストラン（店長）	・予約推移の状況から考えると先行きは悪くなる。
一般レストラン（経営者）	・東日本大震災による景気への不安や、計画停電、商品の確保や原価高等、そのほか物流や人件費等、地震に係るいろいろな問題から、悪くなる。
一般レストラン（店長）	・仕入れが上手くいかない、品物に不安があるということで飲食業は大打撃を受けている。2～3か月先に良くなることは考えられない。こんなことはかつてない。
一般レストラン（スタッフ）	・東日本大震災、福島第一原子力発電所の問題が落ち着いたかないと良くはならない。外国人は自国に帰ってしまい、帰れない外国人は関西方面に行ってしまった。

		都市型ホテル（経営者）	・東日本大震災の影響での計画停電がいつ終わるのか、近隣のアミューズメントパークや大型展示場がいつ再開されるのか全く不透明ななかで、福島第一原子力発電所の問題もいつ鎮静化するのか、先行きが見えない状況である。3か月間はますます悪くなり、経営が立ち行かないような状況に陥るのではないかと危惧している。
		都市型ホテル（支配人）	・先々も客は様子見が多く、販売量は伸びない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・福島第一原子力発電所の影響が無くなり復興に向けて動き出さない限り、悪くなる。
		旅行代理店（経営者）	・東日本大震災で大災害に見舞われてしまったので、ほとんどの予約がキャンセルになってしまった。復興が始まると同時に、客もいくらか気を取り直して南のほうへ行ってみようかという傾向があるにもかかわらず、今のところ全く無の状態である。
		旅行代理店（従業員）	・東日本大震災の影響で減少した企業の出張がどこまで、どれだけ回復するかによる。
		旅行代理店（従業員）	・東日本大震災以降、旅行マインドが冷えきってしまい、行楽シーズンで受注済みであった団体旅行は軒並みキャンセルである。旅行業界自体も自粛ムードが漂っている。
		旅行代理店（営業担当）	・先行きが不透明である。福島第一原子力発電所問題が解決しないと致命的な状況になる。
		タクシー運転手	・今後の見通しは、やはり福島第一原子力発電所の問題と東日本大震災に関して先行きどのような方向付けが出るかによって大分違うのではないかと思っている。ここは辛抱、辛抱で回復までには長い時間が掛かる。
		タクシー運転手	・今後の日本経済は福島第一原子力発電所の問題が鍵である。どう修復するのか、放射性物質の流出をどう食い止めるのか、年単位のことになりそうである。当分の間、景気はどん底の状態が続きそうである。
		タクシー（団体役員）	・今後の見通しとしては、しばらくは予測が付かないくらい悪くなる。
		通信会社（経営者）	・地上デジタル放送への切り替え最終段階であるが、東日本大震災により、今後計画停電による解約増や顧客の多チャンネル需要の低下が予想され、かなり悪化する。
		通信会社（総務担当）	・東日本大震災復興に要する国費の増加が見込まれ、増税や減税の見直しなどが予想されるため、家計におけるレジャー費は削減の方向になる。
		ゴルフ場（従業員）	・東日本大震災、さらに電力不足から、景気回復まではまだまだ時間も掛かる。諦めず、前に進むのみである。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・東日本大震災により、レジャーに対する消費者マインドの冷え込みが相当ある。もともと、それ以前の問題として、計画停電が実施されている間は物理的に営業ができず、売上に響くことは必至である。
		その他レジャー施設 〔スポーツ施設〕（支配人）	・東日本大震災の影響で先行きが更に不透明なため、悪くなる。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・東日本大震災の影響で、交通機関の乱れや計画停電など、子供を送り出す環境に無いということで、春期講習のキャンセルが相次ぎ、売上が前年の半分になっている。新入会も少ないので、今後の見通しはかなり悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・一般建築が悪いなりに、今回の東日本大震災でいろいろなものが悪いほうに動いている。建築計画があったものが、少し足止めをして様子を見ている。建材の不足、重油、ガソリン関係の不足などが追い風となり、建築関係の景気は先行きもっと悪くなるようである。
		設計事務所（所長）	・東日本大震災により、東北に生産工場等が多いため、建築材料が品不足となる恐れがあり、それにより物価高が想定されるため、上向く材料は一つもない。
		住宅販売会社（経営者）	・経済活動を自粛するというムードが広がっているため、しばらく景気回復は考えられない。
		住宅販売会社（従業員）	・受注についてはユーザの不安が先行しており、商談が大幅に落ち込んでいる。売上についても資材の納入遅れの影響で更に悪化する見通しである。
企業 動向 関連	良くなる	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・2～3か月先には、東日本大震災により被災したライフラインの復旧が一定程度進んでいるはずであり、関東圏では通常の営業を進めることができるようになる。
	やや良くなる	化学工業（従業員）	・東日本大震災の影響によると思われる建築資材の荷動きが既に始まっており、しばらくは継続する。
		輸送業（営業担当）	・大手取引先と東日本大震災を契機に正規、定常取引への道が開けそうである。

	不動産業（総務担当）	・この先大口テナントの入居が決まり、明るさに見えるものの、賃貸条件がオーナーにとっては厳しいものなので、収益の改善にはまだ相当の期間を要する。
変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・3月は会社の設立に関する印鑑販売が3本だけで、そのうち2本は古くなった物の作り直しで、新規設立は1つしかなく、法人は非常に落ち込んでいるのを感じている。一方、個人の実印や印鑑がかなり増えてきており、東日本大震災の影響が少し薄らいでくるとことを考えると、総じて変わらない。
	建設業（経理担当）	・東日本大震災後、建築資材の価格が上がり気味である。この先は、怖くて材料の見積額が出せない状態が続くそうである。
	輸送業（経営者）	・唯一出ていた仕事は東日本大震災によってすべて壊滅しているため、そちらの工場その他が立ち直らなければ、景気の回復、当社の仕事は増えてこない。
	経営コンサルタント	・中小企業にとって、現状では大きいのしかかる課題に対して具体的な対応、見通しが立てにくい。1か月後ぐらいには具体的な動き方が見えてくるだろうが、業績の悪化傾向は変わることはない。
	税理士	・北米での自動車の販売が芳しくないが、中国と新興国で売上が伸びている。しかし、やはり東日本大震災の津波や福島第一原子力発電所のことがある。国内的にはこの千年に一度の大きな要因が来ているので、これに対処していけない限り、このままの状態が続く限り、景気は悪い。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・東日本大震災の影響も不透明であるが、復興への強い意思も感じられる。顧客工場の稼働率も回復してくると思うため、現状維持で推移できる。
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（所長）	・4月になると回復し始めると思うが、すぐに状況が好転するとは考えにくい状況である。計画停電、物流等の改善がはっきりするまでは、厳しい状況が続く。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・同業他社数社から、年明けから現在の受注量が前年より2～3割減少しており、今後更に減少する。
	出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・年度末需要が終わることと、仕入先から東日本大震災の影響で資材が調達しづらい状態にあるとの説明があったため、最悪、できない仕事が出てくる可能性がある。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・住宅関連部品や化粧品容器の受注は横ばいであったが、医療容器の受注が増加傾向にあったので期待していた。しかし、今回の東日本大震災で顧客や仕入先のシステムがかなり影響を受けてしまい、将来の情報が不確実で憂慮している。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・東日本大震災の復興は部分的にしか始まらない。インフラ関係は逆に受注が増えるかもしれないが、一般的なものについては受注が減る。トータルでは変わらないか、やや悪くなる。
	金属製品製造業（経営者）	・東日本大震災、津波の影響で、得意先の稼働率が悪くなると仕事が減る。
	金属製品製造業（経営者）	・受注動向には今のところ極端な変化は無いが、停電、材料の入荷遅れなどによる影響が大きく、今後も続く。
	一般機械器具製造業（経営者）	・東日本大震災の影響で仕事量そのものが完全に落ち込んでいるため、やや悪くなる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・東日本大震災の結果はまだ分からないが、やや悪くなる。
	建設業（営業担当）	・東日本大震災の影響により、耐震診断や補強の話が出てきている反面、建設資材の入荷が見通しが立たないものがある。引き渡しに補助金が絡んでいると年度内に引き渡しができなくなり、支払入金に影響が出てくる。
	輸送業（経営者）	・東日本大震災は非常に大きな災害なので、後方支援等の動きはあるが、実質的な経済の回復はさらに1年後、2年後になる。
	通信業（広報担当）	・今後、東日本大震災に伴う計画停電や、福島第一原子力発電所事故に伴う消費マインドの縮みの影響が顕在化する。
	金融業（支店長）	・東日本大震災の影響で停電その他、悪影響が出る。
	金融業（支店長）	・各企業の来年度の受注見込み等を聞くと、やはりまだ親会社からの目途が立っていない。東日本大震災の関係で受注量又は仕事が少なくなっており、生産能力が低下している。これらのことから鑑みて、また、景気対策等がなされていないまま今度は地震の復興という形になると、資材も当然上がってくる。いろいろな問題でまだまだ見通しが付かないということで、景気は悪化する。



	広告代理店（従業員）	・東日本大震災の関係で受注済の仕事が延期になっている。
	経営コンサルタント	・東日本大震災の影響が、停電や物流の停滞という形で各企業に影響を与えている。
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・建物清掃という労働集約型の産業なので、計画停電の影響で日常作業の勤務時間に問題が出てくるケースや、定期的な作業も日程の延期や中止が出てきている。
悪くなる	食料品製造業（経営者）	・買い控えが起きる。
	繊維工業（従業員）	・福島第一原子力発電所がいつ正常に戻るか、繊維製品に対する消費者マインドは冷え切っている。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・計画停電等の影響が少なからず発生してくる。
	金属製品製造業（経営者）	・計画停電により生産時間が縮小されて納期遅れが発生するために、得意先が代替を考えるのではないかが不安。
	一般機械器具製造業（経営者）	・現在、東日本大震災による自動車関係部品の供給が止まっているため、メーカーのラインが動かない。当地は被害はなかったが、下請が壊滅状態らしいので、そちらができないと当社の部品も要らなくなってしまう。向こうの復帰次第であるが、全然読めない状況が続いている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・今はまだ部品の在庫があるが、すでに何点かの部品の供給が止まっている。そのため、受注しても生産できない。福島第一原子力発電所事故の影響も大きい。放射線を心配する海外の取引先からも受注が減るのではないかと心配している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・東日本大震災の影響を受けて、日本経済の全体が落ち込むのは間違いないところである。当分景気が良くなることは考えられない。
	精密機械器具製造業（経営者）	・関東圏でも、被害がなくても計画停電による生産調整、物流の茨城より北方面の不通、材料資材の調達が深刻である。メーカーの生産中止により、更なる不況の大津波が来そうである。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・リーマンショックがまだ回復しないのに円高になり、東日本大震災が来て、1日に3時間とか2回6時間とかの計画停電である。地震の11日以降、メーカーは部品が来ないからと21日まで休み、下請は材料が動かないためどうしようもなくなる。これから夏場になり電気の需要が多くなるので、これ以上もう良くなるのではないかと悲観的である。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・大手企業は恐らく海外生産へと加速すると思うが、中小企業は今でもリーマンショックで仕事が少ないところへの東日本大震災であり、国内生産が大幅に下がる。これからもしかしたら廃業、その結果、失業者が増大するということになる。
	その他製造業〔鞆〕（経営者）	・身を飾る目的の商品を取り扱っており、今はそんな時ではないので、相当冷え込む。最優先の復旧に力を入れることが最善だと思う。
	その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・復旧の見込みがない。
	輸送業（経営者）	・東日本大震災の影響により、製造調整が行われ、取扱量の減少が見込まれる。また、燃料価格が上昇し続けており、今後も高値が予測され、この2つの大きなマイナス要因が経営に影響を及ぼす。
	輸送業（所長）	・軽油価格の上昇が止まらない。間違いなく経費が上がっている。また、東日本大震災の影響で生産拠点がダメージを受け、供給品が既に入って来なくなっている。当面は輸送品が減少することと、当面の貸切車両の削減を言われている。
	輸送業（総務担当）	・東日本大震災の関係で、荷主のインフラ関係製品の出荷が増えてくれれば良いが、早急には増えそうもない。既存の出荷は、当面増加は望めない。
金融業（役員）	・東日本大震災による買い控えや計画停電による売上減少等によって、しばらく景気は悪くなる。	
金融業（支店長）	・今後各業界で東日本大震災復旧の資金需要は出てきそうである。だが先も読めないなか、銀行として協力できるのか、見当も付かない。政策金融の役割が大きくなるのではないか。	
金融業（渉外・預金担当）	・東日本大震災の関係で縮小した分がしばらく影響する。	

	広告代理店（経営者）	・ 広告自粛の動きはしばらく続くだろうし、福島第一原子力発電所や余震次第で、さらに長期化する危惧もある。元々の構造不況業種にこの追い打ちで、3か月後が良からうはずがない。
	広告代理店（従業員）	・ 東日本大震災の影響で今のところゴールデンウィークくらいまでのイベントが中止だが、花火大会など夏くらいまでのイベントも中止、自粛の方向に動いている。
	広告代理店（営業担当）	・ 福島第一原子力発電所の影響（計画停電）や、被害の拡大が現状では読めないで、今後夏から秋にかけてのキャンペーンも軒並みペンディング状態である。全く読めないで、悪くなる。
	税理士	・ 福島第一原子力発電所の収束の見通しも付かず、夏場の電力不足を思うと気が滅入る。
	社会保険労務士	・ 東日本大震災の影響があまりにも大きく、良くなる要因が見当たらない。
	経営コンサルタント	・ 東日本大震災の影響が計り知れず、先が読めなくなっている。
	その他サービス業 [映像制作]（経営者）	・ 2、3か月ではこの状態は復旧しそうもなく、また今後、取引先もますます広告費等を縮小するため、景気は悪くなる。
	その他サービス業 [警備]（経営者）	・ 計画停電、東日本大震災の影響により、イベント警備、公営競技の中止で打撃を直接受けている。早く平常に戻ってほしいと、死活問題になる恐れがある。
	その他サービス業 [ソフト開発]（経営者）	・ 受注が減ってきているため、悪くなっていく。
	その他サービス業 [ビルメンテナンス]（経営者）	・ 東日本大震災の影響がこれから出てくる。
	その他サービス業 [ディスプレイ]（経営者）	・ 東日本大震災の影響がある。
	その他非製造業 [商社]（営業担当）	・ 東日本大震災の影響で、悪くなっていく。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	—
	人材派遣会社（支店長）	・ 地上デジタル放送化が4か月後に控えており、人材の投入が見込まれている。
	人材派遣会社（営業担当）	・ 求人数は堅調で、雇用も増えている。ただし、雇用形態は非正規雇用を中心に伸びており、世の中全体の景気回復にまで至るかは見通しが立たない。あとは東日本大震災復興の影響次第だが、インフラを整えば次に必要なのは職と想定している。
	人材派遣会社（営業担当）	・ 夏に向け電力確保による縮小運営を余儀なくされる場合、契約終了になってしまう人数が増えるが、今よりは良くなっている。
変わらない	新聞社 [求人広告]（担当者）	・ 新年度で相当数の企画、営業所や支店の開設と、人員募集の注文を既にもらっている。ただし、いろいろな形で東日本大震災の影響が出ているので、どれだけ実数として来るかはまだ予想を控えるが、かなりの伸びが期待できる。
	人材派遣会社（営業担当）	・ 求人数は若干増加傾向にあるが、派遣料金の低価格化は脱しておらず、引き続き不透明な状態が続く。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・ これ以上悪くなることはないと思うが、回復までに半年以上は掛かる。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・ 東日本大震災以前は年度末の採用活動の動きが活発であったが、地震後には採用活動を控える企業が多く出ている。採用活動を進めようにも、就業場所の被害状況や計画停電の影響で新規採用に踏み切れない企業が多くあり、その影響がしばらく続く。
	職業安定所（職員）	・ 求人数は若干ではあるものの良くなりつつあるが、すぐに就職に結び付くとは考えられない。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・ 求人数は増加傾向にあるが、中小零細企業については景気動向の様子見している企業が多い。
	人材派遣会社（支店長）	・ 東日本大震災の影響で企業業績への影響が懸念され、復活しつつあった派遣依頼数が減る可能性が高い。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・ 東日本大震災の影響が大きい。
	職業安定所（職員）	・ 東日本大震災の影響により、自動車関連部品メーカー等から雇用調整の相談が複数寄せられている。

	民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、どこのメーカーを確認しても悲観的で、それどころかまだ足元の状態を非常に心配している。長期的に見れば元に戻らと思うが、現時点では求人の動きは基本的に今まであった数字を保留しているような感じである。当業界だけではないと思うが、非常に悲観的な状態である。</li> </ul>
	民間職業紹介機関（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面はこの状況が続くため、やや悪くなる。</li> </ul>
	学校 [大学]（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災により、企業の厳選採用かつ採用減が予想されるため、やや悪くなる。</li> </ul>
	学校 [短期大学]（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、余震、計画停電、交通機関の乱れ等で企業の説明会、選考は延期等になっており、何月ごろから通常どおりの活動ができるのか見通しが付かない。</li> </ul>
悪くなる	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者たちと話をしたが、今後良くなるということは全く考えられないとのことである。生産性は当然低下し、とてもリストラでは乗り切れないような大きな不況が来るのではないかと心配している経営者が非常に多い。</li> </ul>
	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の影響で製造関連（自動車、電機、半導体等）の生産縮小、消費低迷等の懸念材料が多いため、雇用環境も悪化する。</li> </ul>
	求人情報誌製作会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災後の発行紙面で掲載予定の求人がキャンセルになったり、案件が見送りとなっている。元々求人数が少ないので大打撃にはならなかったが、年度替りとなる4月以降の動きが鈍くなることは必須である。福島第一原子力発電所の損傷が様々な業種に及ぼす影響は予測が付かない。</li> </ul>
	求人情報誌製作会社（広報担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人企業もさることながら、求職者側も「今転職する時ではないのではないかと」と、転職活動自体を中止する傾向がある。人材紹介も新規登録者が激減している。今、この情勢で無理して転職して失敗したらもうやり直しがきかないとの観測が広まっているからである。これまでは求人企業だけが消極的だったのに、今度は求職者側も消極的になってきているので、日本の人材流動は止まってしまうかもしれない。</li> </ul>
	職業安定所（所長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災による影響は避けがたく、景気の先行きには大きな不安を持たざるを得ない。現に新卒者の採用内定取消や、30人以上の解雇が続出している。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の影響で、様々な事情から休業せざるを得ない旨の相談が増加している。また、計画停電が実施されることにより、仕事にならず休業したい旨の相談が増加しており、今後、雇用調整助成金、中小企業雇用安定助成金の申請が増える。今後数か月の間にリーマンショックを上回る失業者が発生することが予想される。</li> </ul>
	民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中途採用行為そのものが止まっている。東日本大震災の影響や企業活動の優先順位と集中度が一気に変わったことから、採用選考が進まない。</li> </ul>